

浪花隊支部——合同(七月十七日) 阿部隆一 巽健治郎
12、和歌山支部聯合會

和歌山支部——合同(九月十二日)

13、岡山支部聯合會

岡山支部——合同(八月廿二日)

14、福岡縣支部聯合會

藤懸支部——改組(七月十五日) 濱田惠次郎 小山盛夫

大津田支部——(八月一日) 木村政孝

15、熊本縣

熊本支部——改組(七月十日) 宮村又八

16、群馬縣支部聯合會

桐生支部——合同(九月一日) 藤原憲次郎 佐瀬鐵次

C、合同未完成支部

I、東京支部聯合會

(イ)豊多摩支部(舊大衆黨實現) 城西支部(舊勞農)

(ロ)城南荏原支部(舊大衆) 荏原支部(舊勞農、實現)

(ハ)羽田支部(舊大衆、舊勞農)

(ニ)吾嬬支部(舊大衆) 建築支部(舊勞農)

(ホ)北豊島(舊大衆舊勞農)

(ヘ)第一支部(舊大衆) 城西支部(舊勞農)

2、愛知縣

名古屋支部(舊大衆、實現) 豊岡(名古屋支部(舊大衆))

3、愛媛縣支部聯合會

松山支部(舊大衆)

二、未組織獲得

A、新支部の結成

合同の壓力並びに我黨の日常闘争は、大衆の信頼は我黨に集り、社民幹部の暴壓を以て我黨に合流するものあり、各府縣に新支部の結成を見、事實北は樺太から南は鹿児島に來る間我黨の旗のなびかざるはなきに至つた。

福井縣支部組織準備會

○八月 北丹支部京都府縣聯合會

○九月一日米子支部鳥取縣米子市

支部長足鹿寛 書記長須田令次

○七月廿五日 熊本縣玉名郡支部結成、熊本市玉名郡高瀬町森

山市一方

支部長森山市一 書記長岩木徳藏

○八月九日 京都府中京支部結成

支部長津司市太郎 書記長村上信秀

○八月十一日 長野縣上伊那支部結成、同縣上伊那郡伊那町

○八月十八日 京都府右京支部結成

○八月廿一日 徳島縣麻植支部結成、同縣麻植郡西尾村大字

西麻植

主幹多田三郎

○八月 奥戸支部 東京府南葛飾郡奥戸村

○八月 水上郡支部 兵庫縣水上郡

○九月廿七日 竹田支部大分縣直入郡竹田町五

○十月十日 群馬縣新比郡南町支部

支部長大島義晴 書記長木村仙吉

○社民黨支部網々我黨に合流

○七月五日 社民黨長野支部聯合會の上伊那支部、東筑支部

北安支部の三支部は我黨へ合流した。

府縣會議員選舉を通じて、社民黨所屬の支部中、社民黨幹部

の非闘争主義——階級協調主義に感服をつかしたものは網々

我黨へ合流しつゝある。これに就いては、本部選舉闘争ニユー

スで既に通報したものであるが

(一)社民黨福島縣石城支部は、全部九月六日に我黨へ合流

(二)社民黨の宮城縣仙臺市に於ける共同闘争——選舉を通じて、社民幹部の抑壓にも拘らず社民大衆と我黨の間には共同闘争の協議會が持たれ、社民の無統制が暴露されつゝある。

(四)社民黨の山梨縣中巨摩郡の農民千二百名は我黨に入黨——白井次郎君を中心とする山梨縣中巨摩郡に於ける千一百名の農民は社民の腐敗墜落にあきれて、十月二日聲明書を發すると共に安部黨首に一書を呈して、我黨山梨縣聯に投じて社民の山梨に於ける地盤は大動搖を來しつゝある。

五、然も選舉の結果は、社民は餘りにもミジメである。必ずや選舉闘争の批判と共に社民大衆は幹部の暴壓を蹴つて今後ともに網々我黨へ合流するものと信ずる。

B、支部準備會

△八月 石川縣大野町支部準備會

同縣河北郡大野町驛前岡田重一方